

活動区分	地域活性化型	連携先	自治体・国

## ～ 洲本市域学連携事業 ～

### 活動の様子



現地で撮影した「鮎屋の滝」

### 企画・活動概要

当事業は、2020年度より開始した洲本市と流通科学大学との連携事業。洲本市の住民や行政が抱える地域活性化の課題に対し、流通科学大学でマーケティングや経営学、経済学、社会学などを学ぶ学生が、その専門知識を用いて対策を提案し、地域の活性化を図るプロジェクト。

### 経緯・背景・目的

清水ゼミでこの洲本市域学連携事業に参加するのは今年度が初めてだった。4年生の「卒業研究」に取り組む者のうち3名が、それまでのゼミ活動で養ってきた企画力やプレゼンテーション力を活かす取り組みの集大成の活動の一つとして挑戦した。

### 取り組む課題

今年度は、洲本市鮎屋(あいや)地区の観光資源・特産品を活用した地域活性化提案を行なうことが課題として示された。より具体的には、名所「鮎屋の滝」とその隣接地に設置予定のオートキャンプ場の活用方法を提案することが求められた。



Instagramでの「滝好き」関連のハッシュタグ

### 本学(学生)の役割

当事業に参加する学生は、現地を訪問してのフィールドワークや独自調査などで情報収集を行ったうえ、7月に中間発表、9月に最終発表を行った。学生の目線から提案される内容に対し、中間発表において現地の関係者からのコメントや指摘が提供され、それをふまえ仕上げた企画を最終発表でプレゼンテーションした。清水ゼミのチームは、5月に行われた合同でのフィールドワークには参加できなかったため、その後2回、自分たちで現地訪問を行った。

### 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

最終発表を経ての審査結果では、残念ながら清水ゼミのチームは受賞から漏れてしまった。しかし、提案内容自体については、「滝好き」の人たちというあまり知られていないマニアの存在を発見し、そのニーズを独自のアンケート調査などで明らかにしたうえで、ターゲットを絞った施策を企画構築できたという点で、これまでゼミで学んできた手法を活用した充実した内容になっていると評価できる。

#### ②現状分析(アンケート)



「滝好き」の人たちへのアンケート結果

### 指導教員および関係者の紹介

#### <指導教員>

商学部  
マーケティング学科  
教授  
清水信年(シミスノブトシ)

<専門・担当科目等>  
マーケティング論

#### <関係者・企業等>

洲本市